

【南伊豆ぶらり記】

2月11日(金)

「こだま 565」で熱海に着く。3連休のせいか駅は旅行客でかなり混雑していた。駅レンタで日産マーチを借りる。

熱海ビーチライン

熱海は10数年ぶりである。海岸には砂浜が出現、通りにはソテツの並木、かつての温泉街からの変貌ぶりに驚く。

修善寺 - (下田街道 / 県道 14) 浜橋

浄蓮の滝：滝の脇に茂るハイコモチダは北限、天然記念物である。
森林博物館：天城山麓に杉の巨木があることを初めて知りました。
旧天城トンネルでの会話

「あの刑事は本当の犯人を知っていたのでは...」

(トンネルの出口に立つのは... my wife)

河津七滝：川津桜が満開、町は花祭りで大変な賑わいでした。

浜橋 - (国道 135) 下田

歴史の交流館：精巧な模型とデジタル映像で下田の歴史を学ぶ。
海産物直売店：タタミワシとクサヤの干物(真空パック)を買う。

弓ヶ浜温泉「民宿忠屋」Tel 05586-2-0666 泊

温泉：塩分が濃くかなり苦い、涌き湯は熱く豊富であった。
料理：新鮮な海の幸、中でもキンキの煮付けは最高でした。

2月12日(土)

石廊崎

海岸から灯台まで行くのに一苦労する。
はるか水平線には三宅島の島影と噴煙が見えた。

松崎町

長八美術館：漆喰の芸術を鑑賞(先日TVでも紹介された)

<http://www.izu-matsuzaki.com/cyouhachi.html>

明治商家中瀬邸：なまこ壁造りの豪邸、倉の扉には見事な竜。
岩科学校：明治の洋風建築、国定重要文化財である。

土肥

国道 136 を北上、白い富士と駿河湾の清水から御前崎まで一望、
何度も車を降りて眺める。

昼食は千歳寿司 (Tel 05589-8-2151)で。国道 136 と県道 17 の分岐点
の近くで狭い店に次々と客が来る。皆、海鮮丼しか注文しない。
これは最高！海草の酢の物と河ノリの味噌汁が付いて¥1,500。

途中で津波注意の看板を見かける。西伊豆は民家が密集した小さな
入江が多く東海地震が起きたら大きな被害が出そうである。

修善寺 熱海

県道 80 沿いの山麓で杉林が根こそぎ倒れているのを見かける。
去年の秋に伊豆半島をかすめた台風の爪あとのようだ。

「こだま 468」で東京へ、幸い天候にめぐまれ、津波にもあわず、
いい旅ができました。 おわり

